

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ほたるの里Ⅱ

作成日: 平成 29年 5月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	入居者の生活スタイルに関して、1人ひとりのペースを大切に、希望に沿って行う事ができていない場面もあるので、改善していきたい。	毎日の生活を入居者と相談したり、希望を聞いたりしながら行う。	利用者一人ひとりの1日の過ごし方を見直すとともに、職員のペースで動かない、利用者を動かさないようにする。また、利用者が、急にそのスタイルを変えようとしたら、その意見を聞いて、そのスタイルに沿えることができるよう努力していく。	12ヶ月
2	34	消防署での救急救命講習は受けているものの、職員等の入れ替わり等もあり、新人職員にとっては、利用者の急変や事故発生時に備えて全ての職員が実践力を身につけているとは言い難い。	定期的に職員間で、勉強会等を行い、実践力を身につけておく。	利用者の安全を心がけ、応急処置や初期対応、連絡先等の確認を行い、事故発生時に対して、安全な確保ができるようにする。	12ヶ月
3	35	火災を想定した避難訓練は、年2回行われているものの、夜間想定やその他の災害に対しては、実施されていない。	年2回の避難訓練のうち、1回は夜間想定で行い、昼夜を問わず避難できるように対応を図る。	夜間における避難訓練マニュアルを作り、訓練を行うとともに、他の災害における施設としての避難対策を進めていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。